

好奇心のトビラ通信

医療編

いつもお世話になっております。公設塾minetoです。毎週水曜日に行われている好奇心のトビラ授業の様子を、テーマごとにお送りしていきます！今回は「医療編」での学びや塾生の様子をお届けします。

CONTACT

美祢市公設塾mineto

Tel 0837-53-0311

kousetsujuku.mineto@gmail.com

医療編の授業内容

医療が発達した歴史や、最先端の医療技術を探求！

話を聞くだけでなく、授業の中で生じた“問い”について、考えたり試してみたりもしました！

毎週水曜日の好奇心のトビラ授業では、建築編に引き続き、「医療編」を実施しました。

第1回授業のテーマは、「なぜ人間だけが医療を発達させたのか？」。他の動物は、外敵から身を守るために様々な生存戦略を練っていますが、人間はその危険から遠ざかりました。だからこそ、医療に向き合うことができたという事実を知り、塾生にとって医療への見方が変わったようです！

第2回授業は「ありえない！だらけの医療の歴史」をテーマに、医療が発展してきた歴史を学びました。医療には長い歴史がありますが、実は寿命が大きく伸びたのは、この100年間。今では当たり前の技術も、実は最近分かったことばかりであることを学びました。

第3回授業は「不老不死」をキーワードに、最新のがん治療法やiPS細胞とは何かなど、最先端の医療技術を学びました。また、自分の寿命を決めることができる“寿命申請書”を提出できる社会が訪れたらどうするかを考えるワークを実施。個人で考えるだけでなく、塾生間で意見を交換し、学びを深めていきました。「100年あれば自分のやりたいことができると思うから、100歳と提出したい」「申請書を提出したら、人に決められる人生って感じがしていやだ」「未来がわからないことを楽しみたい」など、様々な意見がありました！



“人生の達人”の回は、山口東京理科大学 薬学部の嶋本顕教授と、薬学部学生の山本暁さん、佐藤友亮さんをお呼びしました。

前半は学生のお二人から、薬学部では何を学ぶのかについてお聞きしました。塾生の予想とは異なるお話に興味津々の様子で、質疑応答の時間では、様々な質問が塾生から出ました！

後半は、嶋本教授から、研究者の人生や最先端の医療、現在の医療問題についてお話を伺いました。最先端の治療法は価格が高騰し、国の医療費が増えていることを知り、塾生たちは技術が発達することの負の側面についても考えていきました！

気づき/学び

塾生が授業後に書いた感想を一部抜粋

iPS細胞など最新医療が進化していて、いつか人類は本当に不老不死になるかも知れないと考えるととてもワクワクした。医療の歴史についてもっと知りたくなった。



医療が発展した理由が少しわかった。自分が生きている間に寿命が決められると考えると怖いと思った。



医療が、たった100年でよくこんなに変わったなと思った。医療が発展できる生き物は、人間以外にはいないのか気になった。



大正時代、江戸時代の平均寿命が思ったよりも短くて驚いた。たくさんの最新医療が知れたので、覚えていたい。



人の血を抜くという治療法を考えた人は、どうしてそうしたのかとても気になった。その治療法がどうして1000年以上続いたのか知りたい。



動物は手術ができないが、人間はできていたので人類はすごいと感じた。100年後など寿命が伸びるかということがまだわからないが、技術が発達していけばかなり伸びると思った。



次回のテーマ

◎次のテーマは「仕事編」

仕事にはたくさんの選択肢があり、人生の多くの時間を費やします。そんな仕事を充実させるためにはどうするか真剣に考えていきます！しかし、人生には予期せぬ出来事がつきものです。そんな偶然性をどうすれば楽しめるようになるのか、探求していきます。

また、人生の達人の回では、自然科学・人文科学・社会科学の3分野から講師をお招きし、進路の悩みや仕事の価値観について、ディスカッションをしていきます！

